

☆ 子ども会 (学習会) だより ☆

MY SKY 第19号

マイ スカイ

1996年10月8日火曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発行者

板野中学校

学習会

編集・文責:吉成士

秋も日々深まりつつあるのが、手に取るようにわかりますね。

たとえば、夕映え^{ゆうば}の空。たとえば、野焼き^{のや}のたちのぼる煙^{けむり}。たとえば、秋鳥^{あきどり}の啼き声^な。こんなときは、自然にふれながら「心にうつりゆくよしなしことを、そこはかとなく」考えてみるのも良いかと思えます。

さて、つい先日板野養護学校のお友達が交流学習^{らいこう}に来校していましたが、板養^{いたよう}のお友達と接する板中生の姿を見ていると、何年か前の自分の姿を見る思いでした……。

何年か前初めて板養に行ったとき、私もどう接していいのかわからず、えらくよそよしくしてたものでした。板養の子が近づこうものなら「おおっ！ちょっと待ってくれ！」っていう感じで避^さけてたし、ましてや手を触^ふれるとか握^{にぎ}るなんてことははずえ～つたいにできませんでした。そのとき、「これが自分の差別意識^{さべし}なのか……」とつくづく思い知らされたのを、今でも覚^{おぼ}えています。

今回それと同じ状^{じょうきよう}況^{じょうきよう}を板中生に見ることになりました。みんな初めは仕方ないのかもしれません。けど、「習^{なら}うより慣^なれる！」だと思えます。接することで慣れていき、それが「障害」をもつ仲間に対する差別意識^{さべし}を洗^{あら}うことにつながっていくのだと思えます。板養との交流は、自分を見つめる最大のチャンスです！15日に再度交流会がありますが、この機会をしっかりと生かしてみましよう！



◎第3回板野中学校同和教育研究大会・2年第3回全体学習2年D組(10月9日:資料「学習会によせる思い」)

2学期に入り、3C、1Bと全体学習を行ってきました。いよいよ今年度唯一^{ゆいいつ}の2Dによる全校全体学習です。第3回板中同研^{いたちゅうどうけん}です！！

全校生徒のみなさん！これまでの自分の思いをまとめておき、何をみんなに伝えたいか決めておきましょうね。そして仲間の発言をよく聞き、その感想に自分の思いをつけ加^{くわ}えて、繰^{くり}返し繰^{くり}返し発言し、仲間とのつながりをより強固^{きやうこ}なものにしていましよう。

また9日当日は、参観授業も兼ねています。生徒のみなさんはもう資料を読んで各クラスで話し合っていると思いますが、保護者の方々はまだ読まれてないと思いますので、ここで紙面^{しめん}を割^さいて載せておきたいと思います。どうぞ読んでみてください。

なおこの資料は、今年の6月の校内部落問題意見発表会で発表された、ある生徒の作文^{げんこう}原稿がもとになっています。つまり、作り話や遠い遠いところのお話しではなく、みなさんの住んでいる板野町のできごとであり、紛れもない事実なのです。そのことを絶えず心^{こころ}に留めながら、しっかり読んでみてください。

学習会によせる思い

ぼくは学習会に参加している。そして今、一番思うことは「仲間がほしい」ということ。

ぼくが今、学習会や部落問題学習に取り組んでいるのには、二つのわけがある。

一つは、支^さえてくれたり、励^{はげ}ましてくれたり、おこってくれたり、応援^{おうえん}してくれたりする仲間がいるから。

何カ月か前に、学習会に仲間が来ないのは自分のせいだと悩んで、何もかもにやる気をなくした時期があった。そのことについて、ぼくの悩みを聞いてくれたのも学習会の仲間だった。その中でもぼくの通^{かよ}う会場と違^{ちが}う会場の先輩^{せんぱい}が、いろいろアドバイスをくれたのはうれしかった。そんなふうに学習会には、会場、学年をこえて支えてくれる仲間がいるからぼくはがんばれる。

そしてもう一つは、自分自身のためである。ぼくの両親は、結婚するときに結婚差別を受けたが、お互^{たが}いに好き合っていたから「部落という理由だけで反対されるのはおかしい」と言って結婚した。そして、結婚してからもぼくの両親に対する差別はひどかったらしいが、このことを話してくれた母さんはつらかったはずなのに、暗い顔も見せず明るくはっきりと語ってくれた。

あのときのことは今でもはっきり覚えている。

「母さんて、お父さんおらんの？」

夕食のとき、何気なく母さんに聞いたのをきっかけに、いろいろと過去^{いまげんざい}や今現在のことを語ってくれた。

ぼくは母さんの母親とは年に何回も会っているけど、母さんの父親とは、一度も会っていない。幼いとき、両親に連れられ、小さい妹と母さんの実家^{じっか}に行ったが、母さんの父親には会えなかった。母さんには、姉と弟がいる。その二人の子どもは小さい

ときに、母さんの父親に抱^だかれたことがあるらしい。でも、ぼくは抱かれたことがない。もしかしたらぼくの名前すら知らないかもしれない。他の人にとってはどうでもいいことかもしれないが、ぼくにとってはものすごくやさしいことなのだ。

そんなことがあったせいか、父さんは母さんの父親に対しては、すごくきびしい。ぼくも母さんの父親をずっと憎^{にく}んでいた。でも今は一度でいい、一度でいいから母さんの父親に会いたい。そのときに、ただぼくの元気な顔を見せて「じいちゃん!」と呼びたい。でも、母さんの実家に行くにもこわくて行けない。すごくこわい。だけど、じいちゃんに伝えたいことはたくさんある。そのひとつが、父さんも母さんもぼくも妹も弟も今、幸せだということ。

ぼくと母さんは、よく部落問題学習について話をする。そのときいつも思うことは、母さんはぼくの前では決して暗い顔を見せないということだ。また、どれだけぼくが言い返しても怒^{おこ}りながらも意見を返してくれる瞬^{しゅんかん}間^{かん}が、ぼくはすごくうれしい。

今の二人を見ていると、本当に幸せそうだなと思う。いつもはバツとしない二人だけど、両親はいつもぼくに言う。

「私やは好きやけん結婚した。ただそれだけのこと」

ぼくはこうした話をしているときにいつも思うことがある。こうした会話やいつもの私生活をじいちゃんに見てほしいということ。そうすれば差別なんてできないと思う。そして今、こんな両親を誇^{ほこ}りに思っているということをじいちゃんに伝えたい。

ぼくは今、じいちゃんに会うことがこわいけど、それに打ち勝つような自信をつけるために学習会に通っている。学習会に通っている中で一番思うことは、最初に言ったように、一人でも多くの仲間がほしいということである。一人でも多く学習会に参加してほしい。ぼくにもいろんな思いがあって、しんどい思いをするときもある。誰だって同じだと思う。でも、「なぜしんどいのに行くん?」と聞かれたら、それは「学習会の仲間が好きだから」と答えるだろう。「部落差別をなくすため」、それも大切だけど、ぼくたちは今、一番大切なものを忘れている。それは仲間だ。

学習会に参加できてない人に言いたい。学習会を重く考えないで、ゆったりとした気持ちで考えてみませんか。一緒に勉強したい。遊びたい。話をしたい。どんな理由でもいい。最初はそれでいいと思う。そうすれば学習会のいいところが見えてくると思う。学習会は重苦^{おもくる}しくて暗い場所ではないと思う。どの学年、会場もみんな待っています。一人でも多くの仲間が来る、ぼくたちはそれだけでうれしいのです。

そして、部落外の立場の人に言いたい。部落差別をなくす同じ仲間として、学習会の仲間のがんばりを見てほしい。もしかすれば、今までもっていたイメージが変わるかもしれないと思うから。ぼくらの支えにもなるし、人間としてお互いに伸びるきっかけにもなると思う。

今は、学習会に行くのがしんどい。でも、学習会の仲間の全員参加を目標に、エンジンをかけなおしたい。

この文章が訴えていることは何でしょうか……？人により感じ方は違うと思います。学習会のみなさんは、学習会に対しての思いをつのらせたかもしれません。でも、学習会に参加している、いないにかかわらず、どちらも考えておかなければいけないことは、「結婚問題」だと思うんです。

人として生まれてきて、ほとんどの人が恋をし、またその多くの人が結婚という道のりを歩いていくようです。現代では結婚をしない人もだいぶ増えてきたようですがね。

ところが、この二人の恋が、それ以外の何ものかによって阻害^{そがい}されてしまうのであれば、やはりそれはおかしいことであり、許されないことだと思います。少々の障害であきらめてしまうような恋は別ですよ。けどこのことは、考えてみればごく自然なことだと思うんです。この自然なことを明言^{めいげん}しているのが、日本国憲法です。読んでみてください。

日本国憲法〈1946(昭和21)年11月3日発布〉

第24条〔家族生活における個人の尊厳^{そんげん}と両性^{りやうせい}の平等〕

① 婚姻は両性の合意^{ごうい}のみに基づいて成立^{めい}し、夫婦が同等の権利^{けんり}を有^{ゆう}することを基本として、相互^{さうご}の協力により、維持^{いじ}されなければならない。

今の日本国憲法には結婚に関しても、こうやって基本的人権の尊重^{うた}を謳っています。

しかし、日本人の中にはどうしてもこだわってしまう人が多いですね。「家」に対する意識がそれです。個人と個人の結婚なのに、結婚式場に「〇〇家・××家」と書いてあるのは有名な話です。家と家が結婚するんじゃないっちゃうのね。この意識が両性の合意^{ごうい}を妨^{さまた}げているんです。まだまだ基本的人権が保障されていないのが今の日本なのです。かといって、それを修正^{しゆせい}していくには、いったいどうすればいいのでしょうか？いったいみなさんが今考えていかなければならないこととは何なんでしょうか？

部落差別で一番問題になっているのもまた、この結婚問題です。この問題が解決すれば、部落差別についても、ほぼ解消したと言って良いのではないのでしょうか。この難^{むずか}しそうで簡単な問題を、みんなで考えていきたいと思います。

今夜あなた自身が、またお家の人も含めて、この問題についてじっくり話し合い、考えておいてみてください。そして明日、それらの思いを結集させてみましょう。

みなさん！発表した子も、できなかった子も「ああこの1日が、この時間があって良かったな！」と、しみじみと思え、明日への生きる道が開けてくるような時間を、勇気を持ってすごしてみましょう！

つながり合いながら、共に、そして自然に、がんばってみませんか！！



◇ これからの日程 ◇◇◇

これからの一週間、休日の間にいろんな行事が入ってますね。^{あわ}慌ただしい毎日になるうえに、一日の気温差が激しいようですが、風邪をひかないように気をつけましょうね。



10月9日(水) 第3回板野中学校同和教育研究大会・2年第3回全体学習2年D組

：資料「学習会によせる思い」(1996年度板野中学校部落問題意見発表会生徒作文)

11日(金) 子ども会(学習会)親睦バーベキュー大会(5:00～8:00：総合センター)

12日(土) 吉野川ピアノ紀行河野康弘コンサート(2:00～：文化の館さくらホール)

15日(火) 板野養護学校との交流学習会(板野中学校)

『MY SKY 第20号』発行日

16日(水)・19日(土)・20日(日) 板野郡秋季新人大会(郡内各校)

21日(月) 学習会3年合同学習(5:30～7:30：総合センター)

22日(火) 『MY SKY 第21号』発行日



※ 「MY SKY」に関する感想や意見を広く求めています。取り上げてほしいことや日頃疑問に思っていることなど、何でも結構です。ぜひとも吉成までお便りください！



板野町解放文化展